

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600168		
法人名	医療法人 竜門堂		
事業所名	竜門堂グループホーム あったか荘		
所在地	佐賀県武雄市山内町大字三間坂甲13842番地12		
自己評価作成日	平成28年12月12日	評価結果市町村受理日	平成29年5月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	平成29年1月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の健康と安全に気を配り、医療と連携を図りながらご家族様に安心して頂き、個々の能力を少しでも活かしながら穏やかな荘生活を過ごして頂けるよう支援をしている。またいつでも気軽に訪問できるような雰囲気づくりに心掛けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然が豊かな山内町、JR駅近くの住宅街にあり、「一緒に、楽しく、のんびりと」という理念のもと、一人ひとりを大切にされたケアに努められているホームである。夏祭り等の行事は地域のボランティア参加で行われているが、少しでも多く地域とのつながりを持ちたいと、ゴミ収集場の清掃に自ら声をあげて参加したり、また、ホームの避難訓練に地域住民も参加して欲しいと参加しやすい曜日に実施しようと検討されている。経営母体が病院で、状態に応じた適切な医療が受けられることも、本人・家族の安心感となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	東ユニット	西ユニット		東ユニット	西ユニット
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	○			

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げ、荘内に掲示して毎朝申し送り時に職員で唱和し、入居者様が穏やかに生活出来るよう実践している。	運営理念を掲げ、荘内に掲示して毎朝申し送り時に職員で唱和し、入居者様が穏やかに生活出来るよう実践している。	「一緒に、楽しく、のんびりと」の理念を毎朝、職員で唱和し、毎月の接遇目標を職員で考えている。委員会活動、ミーティングで実践できたか確認が行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の除草作業や公民館掃除・ゴミ収集所清掃等に参加したり、荘の行事に地域ボランティアの方々に参加して頂き交流を図っている。	地域の除草作業や公民館掃除・ゴミ収集所清掃等に参加したり、荘の行事に地域ボランティアの方々に参加して頂き交流を図っている。	地域の除草作業、公民館掃除、ゴミ収集所掃除に参加されている。行事には地域ボランティアによるダンス、ハンドベル等の参加が行われているが、さらなる交流を検討されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・避難訓練・行事の時に認知症の人の理解や支援方法を地域の方に向けて活かしている。	運営推進会議・避難訓練・行事の時に認知症の人の理解や支援方法を地域の方に向けて活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、地域、行政の方に参加して頂き入居者様の体調や状況に応じたサービスの取り組み等を報告し、意見や地域の情報をお聞きしてサービスの向上に努めている。	ご家族、地域、行政の方に参加して頂き入居者様の体調や状況に応じたサービスの取り組み等を報告し、意見や地域の情報をお聞きしてサービスの向上に努めている。	市役所、地区の民生委員、消防団、家族、ホーム関係者が参加し、報告と共に活発な意見交換が行われている。出された意見・要望はサービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者や生保担当者とは密に連絡を取り、情報を共有して協力関係を築いている。	市町村担当者や生保担当者とは密に連絡を取り、情報を共有して協力関係を築いている。	市役所職員の訪問やホームの近くに市役所支所があり、相談がある時には気軽に出かけ、協力関係は築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対してはミーティングや勉強会などで理解して周知している。見守り、付き添い、関わり方により、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関のタッチセンサーの件は事前にご家族に説明し理解して頂いている。	身体拘束に対してはミーティングや勉強会などで理解して周知している。見守り、付き添い、関わり方により、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関のタッチセンサーの件は事前にご家族に説明し理解して頂いている。	隣接している線路に入り込まない様、玄関にタッチセンサーを使用しているが、身体拘束の弊害を認識されており、身体拘束をしないケアに取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法は研修参加やミーティングで職員に伝えているが声掛けなど理解出来ていない部分もあり、指導や学ぶ機会を増やしたい。	虐待防止関連法は研修参加やミーティングで職員に伝えているが声掛けなど理解出来ていない部分もあり、指導や学ぶ機会を増やしたい。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護の制度は理解している職員は少なく、研修などで学ぶ機会があれば参加したいと思います。	権利擁護の制度は理解している職員は少なく、研修などで学ぶ機会があれば参加したいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては入居時、施設長が家族様に説明して理解、納得して署名、捺印を頂いている。	契約に関しては入居時、施設長が家族様に説明して理解、納得して署名、捺印を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、家族様の意見・要望をお聞きして、出来ることは運営に反映させるようにしている。	利用者様、家族様の意見・要望をお聞きして、出来ることは運営に反映させるようにしている。	家族の面会時や運営推進会議で意見・要望を出してもらったり、入居者の言葉や態度から意向をくみ取り、日々のケアや運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関することはその都度職員の意見、提案を聞き、月1回のミーティング時に話し合い、法人に相談できる事はお願いして運営に反映させている。	運営に関することはその都度職員の意見、提案を聞き、月1回のミーティング時に話し合い、法人に相談できる事はお願いして運営に反映させている。	ユニット毎に、朝の会の話し合いや管理者の方から職員に声をかけて意見や提案を聞かれている。出された意見はミーティングで話し合い、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業主に各自の勤務状況や個々の努力・実績は報告している。法人内での社員旅行・ボーリング大会・ミニバレー大会等リフレッシュ出来る環境整備に努めている。	事業主に各自の勤務状況や個々の努力・実績は報告している。法人内での社員旅行・ボーリング大会・ミニバレー大会等リフレッシュ出来る環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は資格取得・研修参加の補助金支援を行い、法人全体の勉強会など各自質の向上に向けての取り組みに努めている。	代表者は資格取得・研修参加の補助金支援を行い、法人全体の勉強会など各自質の向上に向けての取り組みに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの研修に参加して他の施設との交流、意見交換等を行ないました。今後も機会を増やしサービスの質の向上に努めたい。	グループホームの研修に参加して他の施設との交流、意見交換等を行ないました。今後も機会を増やしサービスの質の向上に努めたい。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時ご本人に不安や困っている事をお聞きし、またご自分で訴える事が出来ない方はご家族にお聞きし、安心して生活出来るよう関係づくりに努めている。	入居時ご本人に不安や困っている事をお聞きし、またご自分で訴える事が出来ない方はご家族にお聞きし、安心して生活出来るよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時ご家族が困っていることや要望または自宅での生活などお聞きして、安心して生活出来るよう支援し、面会時日頃の報告を行い関係づくりに努めている。	入居時ご家族が困っていることや要望または自宅での生活などお聞きして、安心して生活出来るよう支援し、面会時日頃の報告を行い関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネ、主治医、管理者がご本人、ご家族に在宅状況・認知症状等お聞きし、入居が望ましいか、他のサービスで在宅が可能か見極めている。	担当ケアマネ、主治医、管理者がご本人、ご家族に在宅状況・認知症状等お聞きし、入居が望ましいか、他のサービスで在宅が可能か見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩でもあり、色々尋ね参考にしている。出来る事を一緒に行うようにしている。	人生の先輩でもあり、色々尋ね参考にしている。出来る事を一緒に行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時荘生活の状況報告をしたり、数時間過ごされる時は食事と一緒に摂って頂いたりして荘生活の状況を見て頂きご本人とご家族の絆を大切にしながら関係を築いている。	ご家族の面会時荘生活の状況報告をしたり、数時間過ごされる時は食事と一緒に摂って頂いたりして荘生活の状況を見て頂きご本人とご家族の絆を大切にしながら関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚の方など馴染みの人がいつでも気軽に会いに来れる雰囲気づくり、自宅や親戚などへ気軽にご家族と出掛けられるよう支援している。	友人や親戚の方など馴染みの人がいつでも気軽に会いに来れる雰囲気づくり、自宅や親戚などへ気軽にご家族と出掛けられるよう支援している。	訪問しやすい雰囲気作りに配慮されている。家族による協力を得て自宅や親族訪問は行われているが、外出はホーム付近の周りの散歩に留まっている。	家族による外出の支援はされているが、ホームとしても外出の機会作りを工夫し、一人ひとりの希望される外出先への支援に取り組まれることに期待したい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様同士や一人ひとりの状態にあった場所で孤立されないように配慮し支援している。	気の合う入居者様やトラブルになれないように入居者様の関係を把握してその時の状況により関わりが上手くいくように配慮支援している。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院退去になられた時は病室を訪問して声かけし、ご家族にお会いした時は経過などの話して相談や支援に努めている。	入院退去になられた時は病室を訪問して声かけし、ご家族にお会いした時は経過などの話して相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。現在の自分の能力を理解されてない方もあり、思いを受け入れることが困難であるが、ご家族と相談しながら支援できればと思っています。	一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。現在の自分の能力を理解されてない方もあり、思いを受け入れることが困難であるが、ご家族と相談しながら支援できればと思っています。	本人の言葉や表情から、また、困難な場合は、家族からの情報、生育歴から希望、意向の把握に努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人やご家族、または他の施設やケアマネジャーからの情報や生活歴、暮らし方、生活環境をお聞きして把握に努めている。	入居時にご本人やご家族、または他の施設やケアマネジャーからの情報や生活歴、暮らし方、生活環境をお聞きして把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身状態に合わせ、出来る事をして頂き、出来ない部分を手助けして毎日の過ごし方を把握している。	一人ひとりの心身状態に合わせ、出来る事をして頂き、出来ない部分を手助けして毎日の過ごし方を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の希望をお聞きし、主治医・職員の意見を聞き現状に即した介護計画を立て、ご家族に説明して署名・捺印を頂いている。	ご本人・ご家族の希望をお聞きし、主治医・職員の意見を聞き現状に即した介護計画を立て、ご家族に説明して署名・捺印を頂いている。	入居者、家族から希望を聞き、主治医、職員の意見を取り入れ現状に即した介護計画が作成されている。1ヶ月毎にモニタリングを行い、変化がある時は随時、変更がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日健康チェックや生活状況を介護記録に記入して気づきなど職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。	毎日健康チェックや生活状況を介護記録に記入して気づきなど職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様・ご本人の希望により自宅外泊・外出・買い物に出掛けられている。	ご本人の希望により職員と買い物に出掛けたり、ご家族様と一緒に自宅へ外出して頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域役員や消防団の方に施設の理解をして頂き、小学生の慰問や中学生の体験学習を受け入れ地域との関わりを持ち安全でゆっくりした生活が出来られるよう支援している。	地域役員や消防団の方に施設の理解をして頂き、小学生の慰問や中学生の体験学習を受け入れ地域との関わりを持ち安全でゆっくりした生活が出来られるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内の主治医に月2回の訪問診療を受けられ、異常時はすぐに連絡して対応される。歯科は訪問歯科を受けている。主治医の紹介やご家族様の希望により、他の医療機関へご家族や職員が受診している。	法人内の主治医に月2回の訪問診療を受けられ、異常時はすぐに連絡して対応される。歯科は訪問歯科を受けている。主治医の紹介やご家族様の希望により、他の医療機関へご家族や職員が受診している。	入居された時点で経営母体医療機関が主治医となっていることが多い。他の医療機関受診は職員も同行して、家族の対応で行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は状態の変化など気づきを看護師や訪問看護師に尋ねたり、また、状態の異変時はすぐに対応、または連絡して適切な受診・診察が受けられるように支援している。	介護職は状態の変化など気づきを看護師や訪問看護師に尋ねたり、また、状態の異変時はすぐに対応、または連絡して適切な受診・診察が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先に情報提供し、お見舞い時状態を尋ねたりしている。他の医療機関に入院された時の退院時は法人の受付と情報交換や相談に努めている。法人の病院に入院された時は頻回に面会して状態を尋ねたりしている。	入院先に情報提供し、お見舞い時状態を尋ねたりしている。他の医療機関に入院された時の退院時は法人の受付と情報交換や相談に努めている。法人の病院に入院された時は頻回に面会して状態を尋ねたりしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については入居時にご家族に説明している。状態が悪化された時は主治医とご家族と施設長が話し合いを行っている。	重度化した場合や終末期のあり方については入居時にご家族に説明している。状態が悪化された時は主治医とご家族と施設長が話し合いを行っている。	入居時、重度化した場合や終末期のあり方について、医療機関で行うと説明がなされている。重度化した場合、主治医が中心となり、ホーム側と家族との話し合いが行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や事故発生時の対応マニュアルを作成して看護師への報告を常日頃、管理者が介護者に説明している。	急変時の対応や事故発生時の対応マニュアルを作成して看護師への報告を常日頃、管理者が介護者に説明している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行い、消防署からの指導や地域の消防団員も参加して指導、助言を頂きながら地域の協力をお願いしている。	年2回の避難訓練を行い、消防署からの指導や地域の消防団員も参加して指導、助言を頂きながら地域の協力をお願いしている。	年2回、夜間想定で地域の消防団員の参加も得て実施されている。入居者の居室入口には移動手段が提示されている。しかし、地域住民へ参加声掛けを予定されているが、実施までには至っていない。	地域住民への声掛けや参加しやすい曜日等に検討され、近隣住民も一緒に訓練に関わる取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけ対応に常々気を付けている。その時の状況により言葉かけの指導を行っている。	一人ひとりを尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけ対応に常々気を付けている。その時の状況により言葉かけの指導を行っている。	母体法人に接遇委員会がある。常に人格を尊重した対応になっているか注意が払われている。排泄時等は、耳元で小さい声での誘導が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中から出来る事や意欲を見つけ出し、自己決定できるよう説明し実行して頂いている。また、表出できられない方は声掛けし、うなずき等で理解し支援している。	会話の中から出来る事や意欲を見つけ出し、自己決定できるよう説明し実行して頂いている。また、表出できられない方は声掛けし、うなずき等で理解し支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側のある程度の決まり事はあるが、一人ひとりのペースや意思に合わせた介護を行い、ゆっくりとした一日を過ごして頂くよう心掛けている。	職員側のある程度の決まり事はあるが、一人ひとりのペースや意思に合わせた介護を行い、ゆっくりとした一日を過ごして頂くよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴日は自分の好まれる洋服を選んで頂いたり、衣類の調整が出来られない方は支援している。マニキュアなど時々おしゃれして喜ばれる。	入浴日は自分の好まれる洋服を選んで頂いたり、衣類の調整が出来られない方は支援している。マニキュアなど時々おしゃれして喜ばれる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者様が楽しみにされている時間でもあり、盛り付けなど工夫している。牛蒡そぎなど下ごしらえやつぎわけ、お盆拭き、お碗拭きのお手伝いをして頂いている。	食事は入居者様が楽しみにされている時間でもあり、盛り付けなど工夫している。テーブル拭きなどご自分の席を拭いて頂いている。	入居者に好みを尋ね、献立作成が行われている。調理の下ごしらえ、お盆拭きなど、入居者も一緒に行い、食事中は入居者同士の会話があり、笑い声が多い。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	魚・肉・野菜などバランスを考え、個人の食事形態、量を提供している。食事摂取量は記録して、午前午後とおやつ、お茶を提供し、入浴後や水分要求時などいつでも飲んで頂いている。	魚・肉・野菜などバランスを考え、個人の食事形態、量を提供している。食事摂取量は記録して、午前午後とおやつ、お茶を提供し、入浴後や水分要求時などいつでも飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりの状態に応じたケアを行っている。	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりの状態に応じたケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの状態に合った排泄の支援を行っている。昼間個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレ使用やオムツ着用される方の支援をしている。	一人ひとりの状態に合った排泄の支援を行っている。昼間個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレ使用やオムツ着用される方の支援をしている。	排泄チェック表を利用し、一人ひとりの力、排泄パターンを把握し、声掛け、誘導が行われている。リハビリパンツから布パンツに改善したケースもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解している。飲食物の工夫は行っているが、運動の促しが不足している。便秘状態を主治医に相談して下剤や座薬を使用されている。	便秘の原因や及ぼす影響を理解している。飲食物の工夫は行っているが、運動の促しが不足している。便秘状態を主治医に相談して下剤や座薬を使用されている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそうした支援をしている	入浴は個々の身体能力に応じて入浴日は決めている。その日の体調や状況により声掛けやタイミングに配慮しながら入浴支援を行っている。	入浴は個々の身体能力に応じて入浴日は決めている。その日の体調や状況により声掛けやタイミングに配慮しながら入浴支援を行っている。	週3回の入浴が基本である。一人ひとりの状態に合わせた方法で浴槽内での入浴となっている。入浴を拒否される時は、職員を変更したり、時間をずらしての声掛けが行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの体調により、居室で休んで頂いたり、個人の睡眠時間に応じた対応をしている。	1人ひとりの体調により、居室で休んで頂いたり、個人の睡眠時間に応じた対応をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されている薬の目的や副作用を全職員が理解しているとは言い難いが誤薬をしないよう日付け・名前を声に出して二人で確認しながら配薬している。	処方されている薬の目的や副作用を全職員が理解しているとは言い難いが誤薬をしないよう日付け・名前を声に出して二人で確認しながら配薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴などお尋ねして、調理の下ごしらえやつぎ分け・お盆拭き・洗濯畳みを手際よくして下さる。畑の野菜など作り方を教えて下さる。	生活歴などお尋ねして、体力に応じたお手伝いのテーブル拭きや洗濯畳みなどして下さる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	帰宅願望があらわれる時は窓外散歩をしたりすると落ち着かれる。また小人数で花見に出かけたり、ご自宅に毎月外出されたり、ご家族の希望により親戚のお葬式参列されたりと協力しながら支援している。	気候のいい時は窓外散歩をし気分転換ができています。買い物希望時は職員と一緒に出掛け洋服を選んだり、自宅でお祝いされたり、ご家族と協力しながら支援している。	天気が良い時ホーム周辺の散歩を行っている。本人、家族からの希望で職員と一緒に買い物に行くこともある。家族の協力で自宅や普段は行けない場所への外出が行われている。	

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設長管理として必要に応じて出金している。希望により近くの店に職員と一緒に買い物に出掛けている。	施設長管理として必要に応じて出金している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話して欲しいと訴えあればご家族に電話してお話されている。	電話して欲しいと訴えあればご家族に電話してお話されている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	対面式の台所で調理中の音、美味しい匂いを感じて頂いている。デイルームはゆったりして、窓からは冬場は暖かい日差しが入り電車や人通り、ベランダに出れば畑の野菜が見え、玄関には季節の花を植えて季節感を感じて居心地よく過ごせる工夫をしている。	対面式の台所で調理中の音、美味しい匂いを感じて頂いている。デイルームはゆったりして、窓からは冬場は暖かい日差しが入り電車や人通り、ベランダに出れば畑の野菜が見え、玄関には季節の花を植えて季節感を感じて居心地よく過ごせる工夫をしている。	デイルームは広く明るく、調理の匂いがし、温かな雰囲気がある。大きな窓から見える風景から季節の移り変りを感じることが出来、穏やかな日にはベランダに出て日光浴やお茶を楽しむことが出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや長椅子でご自分の好きな場所や気の合う利用者様同士が思い思いの場所で過ごされている。	ソファーや長椅子でご自分の好きな場所や気の合う利用者様同士が思い思いの場所で過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	娘様手作りの壁掛けやご家族の写真や季節毎に家族様により飾りつけをされたり、塗り絵など貼り自分の居室とわかるようにしている。	ご家族様との写真や額飾り、鏡など置かれている。	本人・家族が希望する物は自由に持ち込むことが出来る。写真、家族の手作りの品、季節に応じた飾りつけがなされ、居心地よく過ごせるように工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には名前を掲示して、トイレもわかるように表示している。床のバリアフリー化、廊下や入浴室の手摺をつけ安全で出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室の入り口には名前を掲示して、トイレもわかるように表示している。床のバリアフリー化、廊下や入浴室の手摺をつけ安全で出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。		